
杉並区のごみ・資源のデータ集



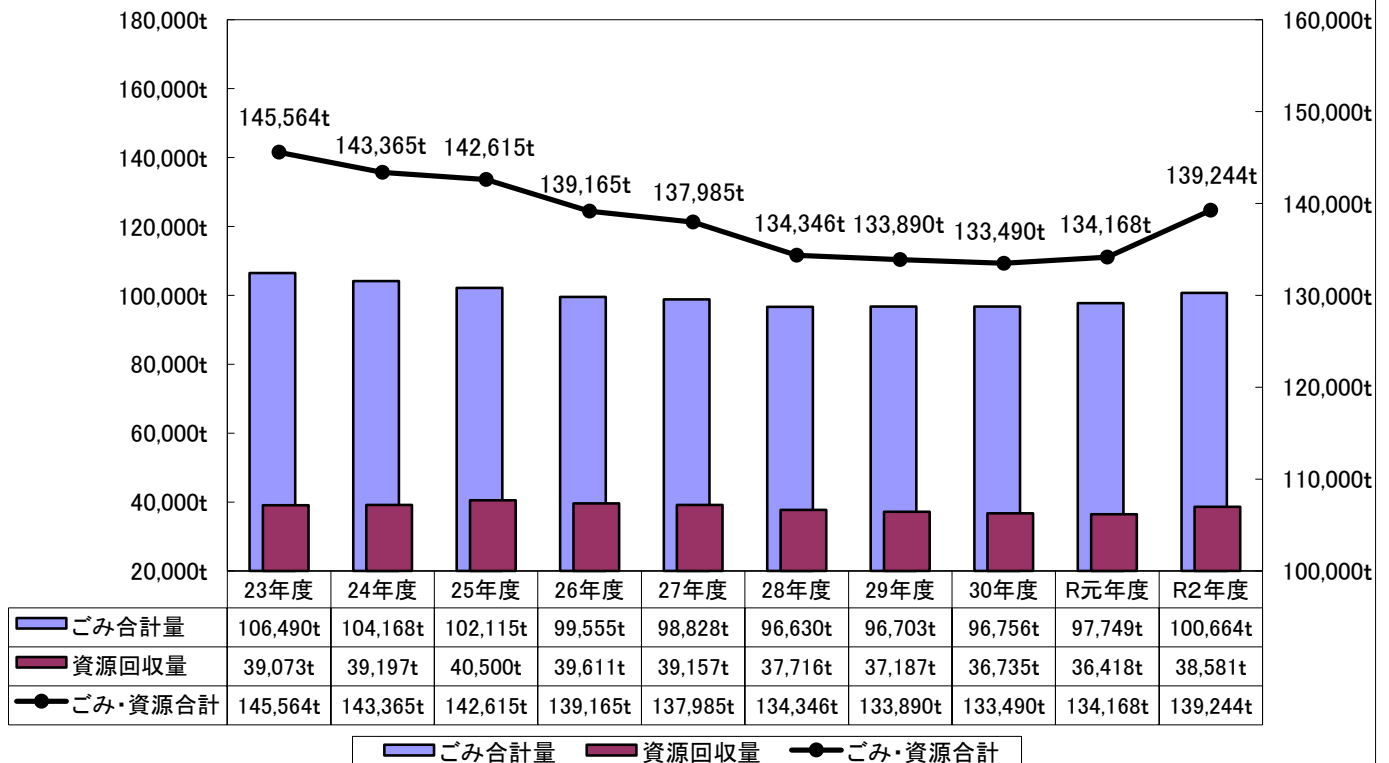
令和3年8月作成
杉並区 環境部 ごみ減量対策課

目次

1	ごみ収集量・資源回収量実績〈年間〉	2
2	ごみ収集量実績〈年間〉	3・4
	・ごみ(可燃・不燃・粗大)収集量	
	・可燃ごみ収集量	
	・不燃ごみ収集量	
	・粗大ごみ収集量	
3	区民一人1日あたりのごみ排出量・資源回収率	5
4	資源回収量実績〈年間〉	6
5	集団回収量実績〈年間〉	7
6	ごみ収集量・資源回収量実績〈前年度比較〉	8
7	令和2年度 ごみ収集量実績〈月別〉	9
8	令和2年度 資源回収量実績〈月別〉	10
9	ごみの組成	11～14
10	ごみ・資源の処理にかかる経費	15
11	杉並区の清掃事業の歴史	16

1.ごみ収集量・資源回収量実績〈年間〉

杉並区のごみ収集量・資源回収量



	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	ごみ合計量	資源回収量	ごみ・資源合計	資源回収率
23年度	97,306t	4,808t	4,375t	106,490t	39,073t	145,564t	26.8%
24年度	95,234t	4,509t	4,425t	104,168t	39,197t	143,365t	27.3%
25年度	94,002t	4,330t	3,783t	102,115t	40,500t	142,615t	28.4%
26年度	92,480t	3,539t	3,535t	99,555t	39,611t	139,165t	28.5%
27年度	92,034t	3,187t	3,608t	98,828t	39,157t	137,985t	28.4%
28年度	90,018t	3,054t	3,559t	96,630t	37,716t	134,346t	28.1%
29年度	90,268t	2,829t	3,606t	96,703t	37,187t	133,890t	27.8%
30年度	90,429t	2,752t	3,575t	96,756t	36,735t	133,490t	27.5%
R元年度	91,258t	2,752t	3,739t	97,749t	36,418t	134,168t	27.1%
R2年度	93,836t	3,055t	3,773t	100,664t	38,581t	139,244t	27.7%

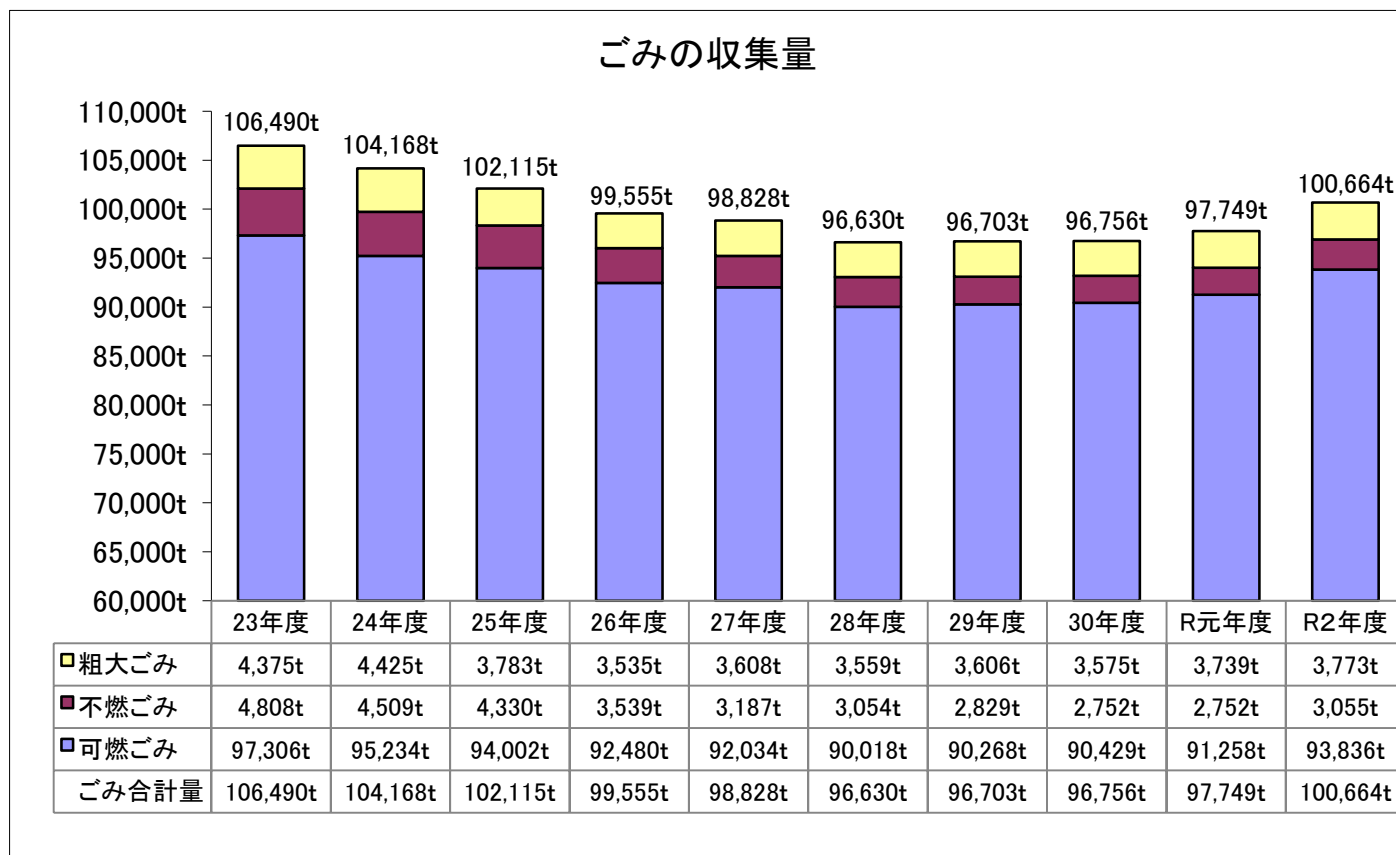
※ 端数処理のため合計があわない場合がある。 ※ 資源回収率=資源回収量÷ごみ・資源合計×100%

※ 各合計値は各数量の和を四捨五入して算定している。

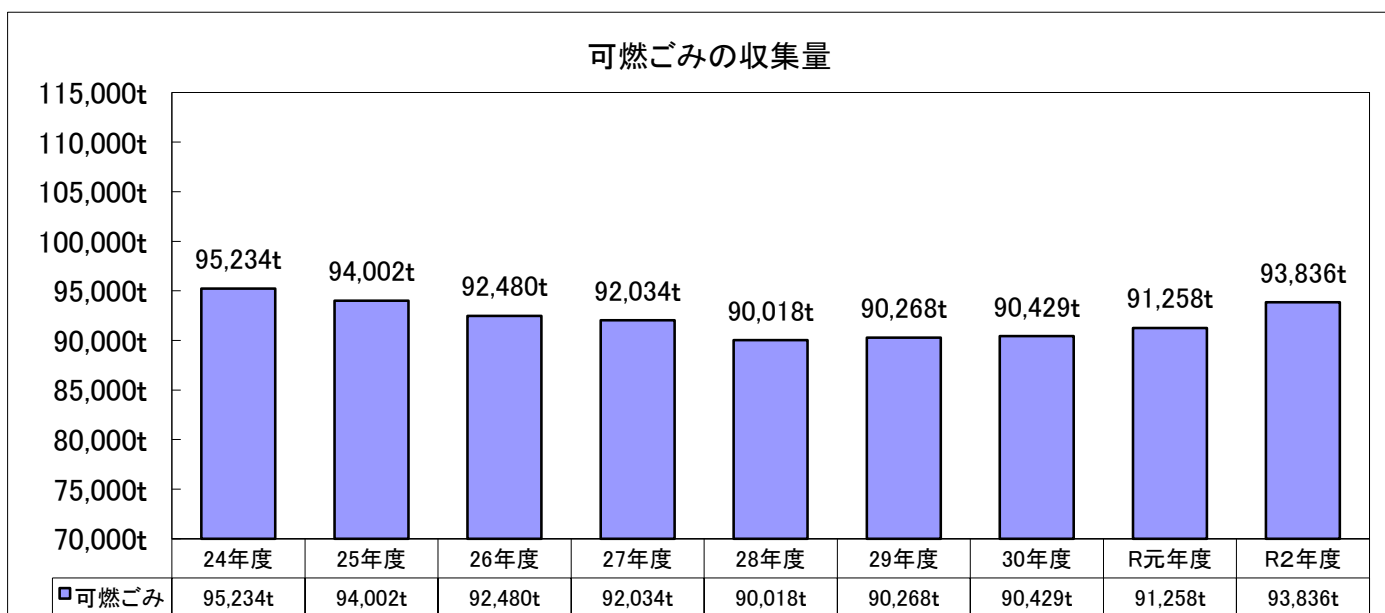
※ 上記資源回収量は、集積所回収・拠点回収・集団回収の合計。

2.ごみ収集量実績<年間>

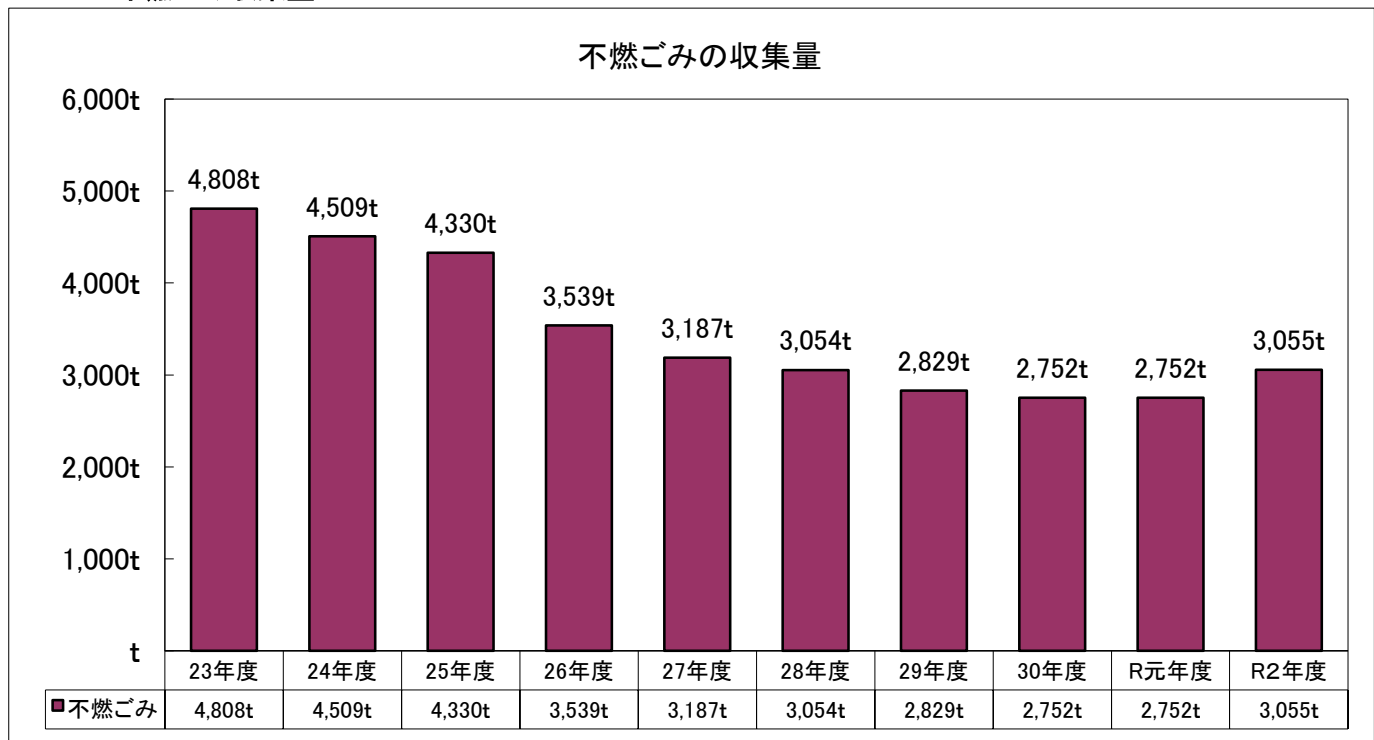
▶ ごみ(可燃・不燃・粗大)収集量



▶ 可燃ごみ収集量

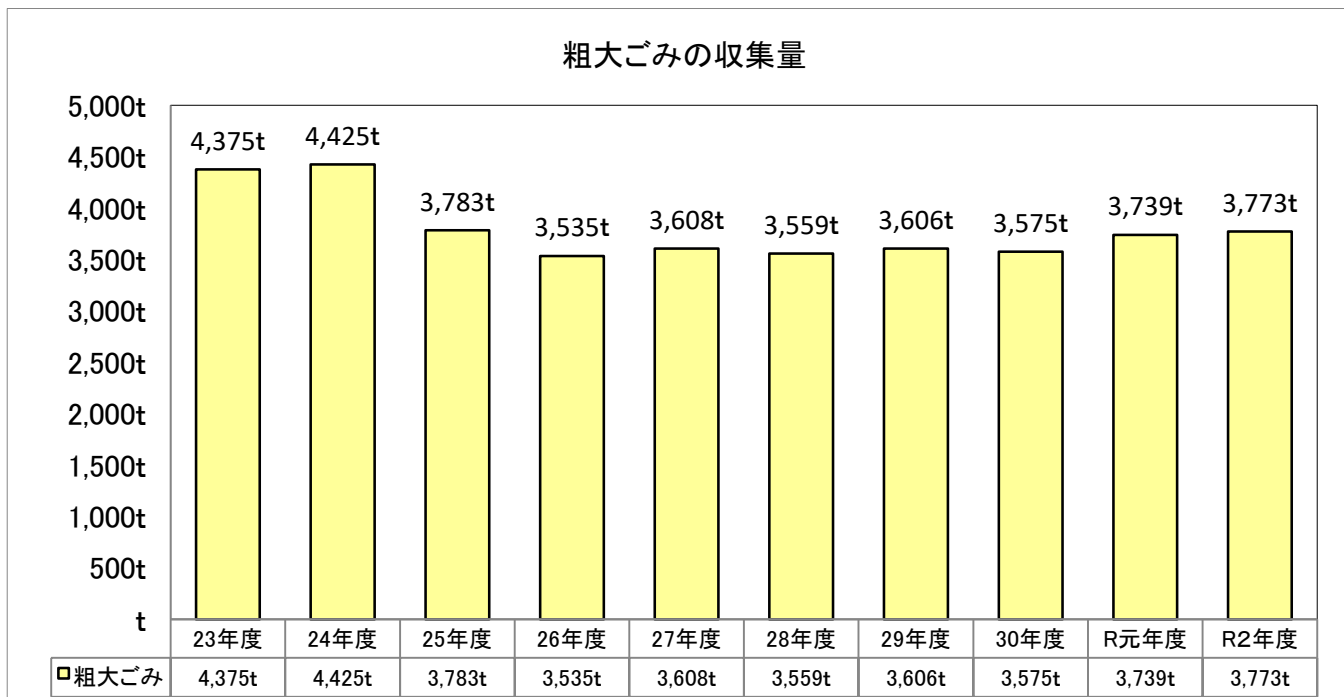


▶ 不燃ごみ収集量



平成26年度から有用金属の再資源化を一部地域で開始、平成29年10月より区内全域に拡大しさらなる減量、再資源化に取り組んでいます。

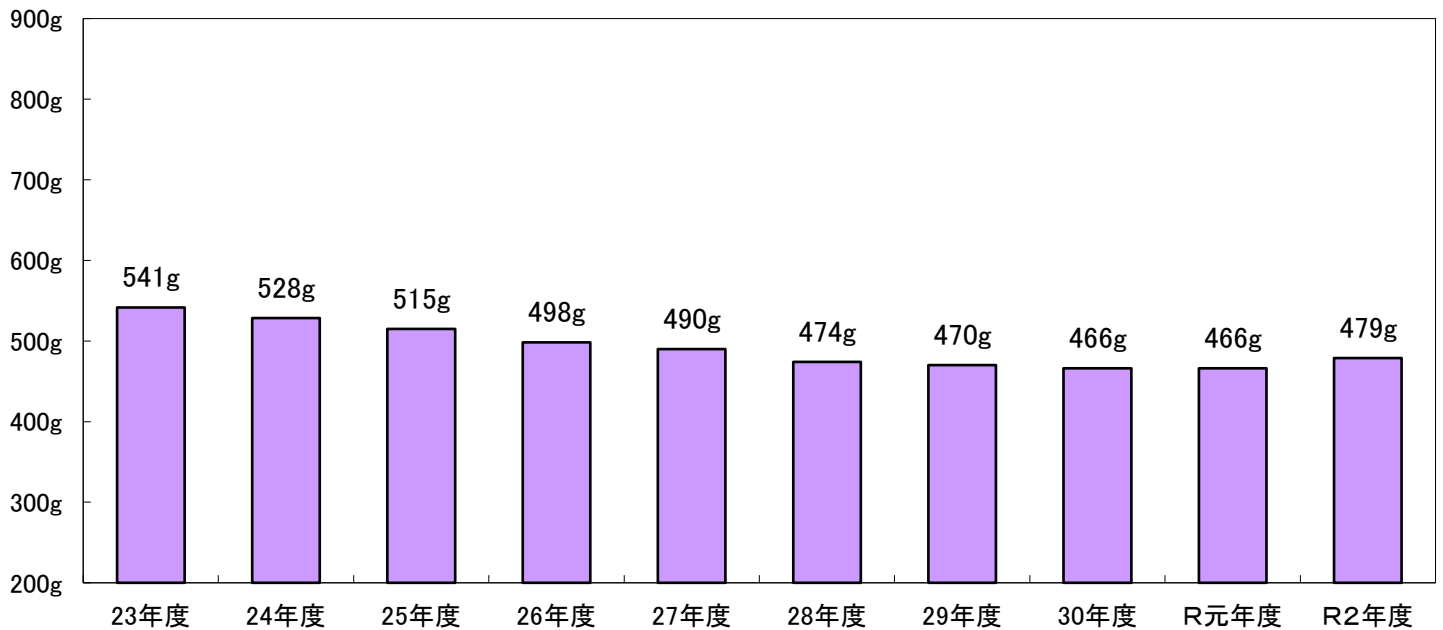
▶ 粗大ごみ収集量



平成25年度から粗大ごみ金属部分の再資源化を開始したことにより減少しましたが、近年は横ばいで推移しています。

3.区民一人1日あたりのごみ排出量・資源回収率

一人1日あたりのごみ排出量

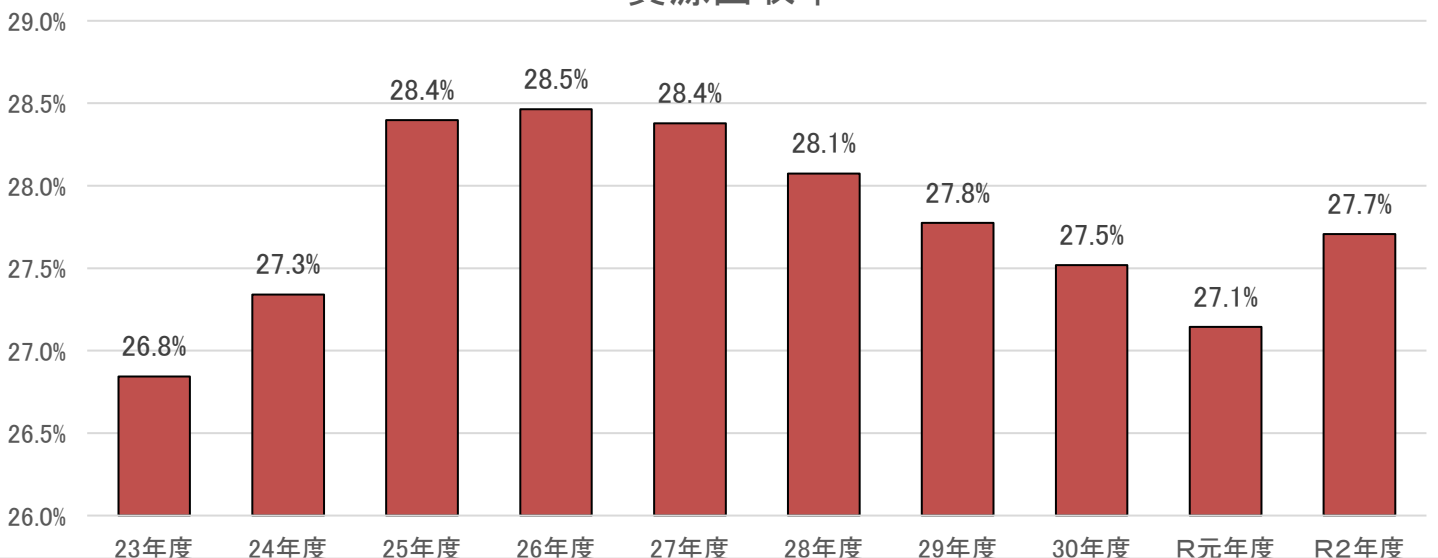


※ 一人1日あたりごみ排出量=年間ごみ量(可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ)÷人口÷365日で算出。

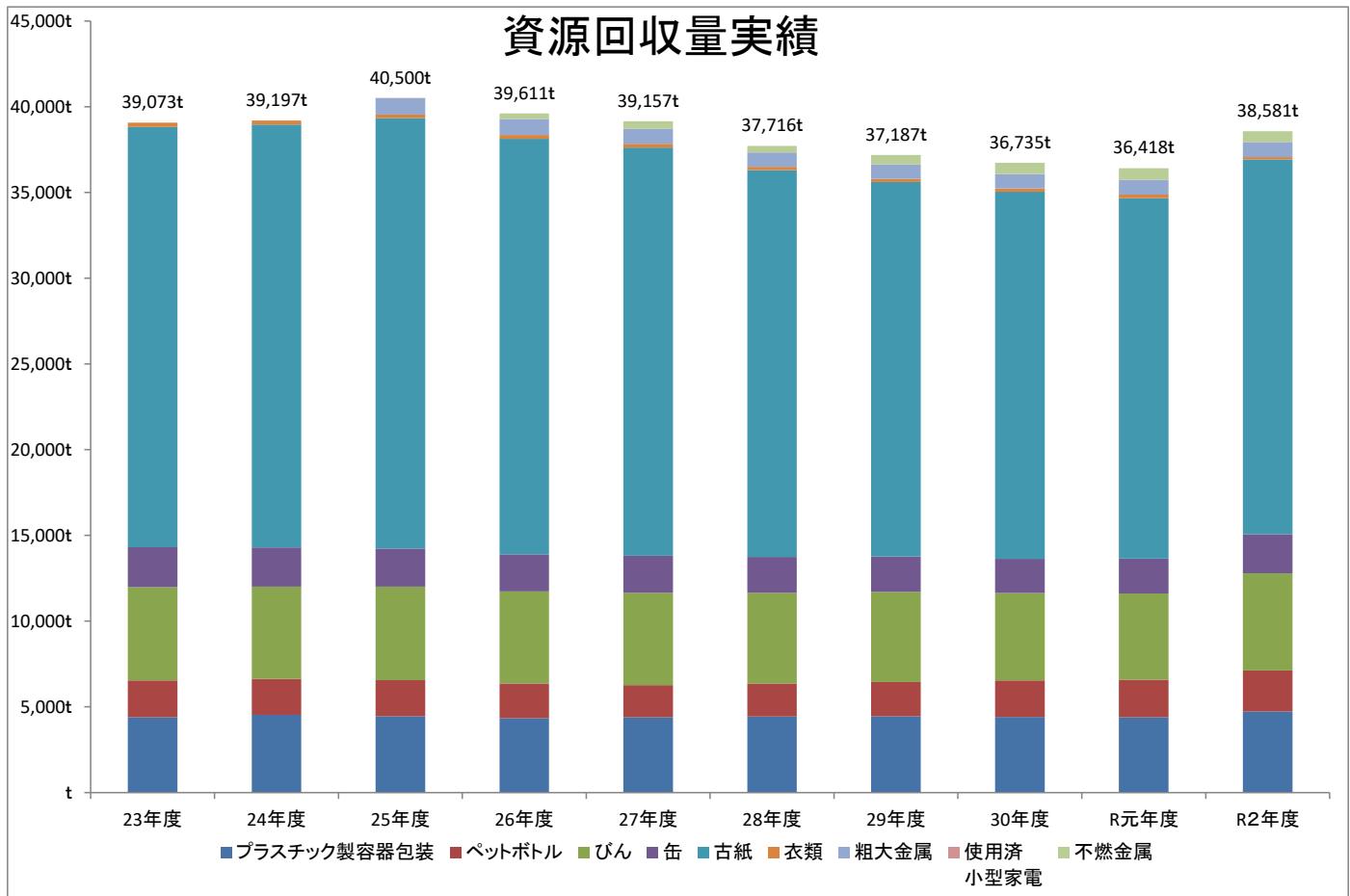
平成30年7月に「杉並区一般廃棄物処理基本計画(平成30年度～33年度)」を改定しました。

計画では、平成33年度(最終目標年度)一人1日あたりのごみ量を450グラム・資源回収率を33パーセントと数値目標を定めています。

資源回収率



4. 資源回収量実績＜年間＞



平成20年度からペットボトル・プラスチック製容器包装の資源回収を区内全域で開始したため、資源回収量が増加しました。

	プラスチック製容器包装	ペットボトル	びん	缶	古紙	衣類	粗大金属	使用済小型家電	不燃金属	合計
23年度	4,393t	2,147t	5,449t	2,323t	24,511t	251t	-	-	-	39,073t
24年度	4,537t	2,090t	5,390t	2,280t	24,665t	233t	-	-	-	39,197t
25年度	4,452t	2,106t	5,451t	2,216t	25,108t	210t	955t	2t	-	40,500t
26年度	4,340t	2,027t	5,371t	2,157t	24,240t	223t	924t	11t	316t	39,611t
27年度	4,403t	1,866t	5,388t	2,150t	23,812t	217t	876t	12t	433t	39,157t
28年度	4,443t	1,916t	5,294t	2,097t	22,552t	196t	831t	10t	377t	37,716t
29年度	4,450t	2,003t	5,258t	2,065t	21,832t	191t	845t	13t	530t	37,187t
30年度	4,405t	2,134t	5,107t	1,986t	21,414t	199t	826t	15t	649t	36,735t
R元年度	4,397t	2,184t	5,037t	2,025t	21,034t	201t	860t	15t	667t	36,418t
R2年度	4,734t	2,388t	5,668t	2,289t	21,843t	145t	871t	13t	629t	38,581t

※ 上記回収量は、集積所回収・拠点回収・集団回収の合計。

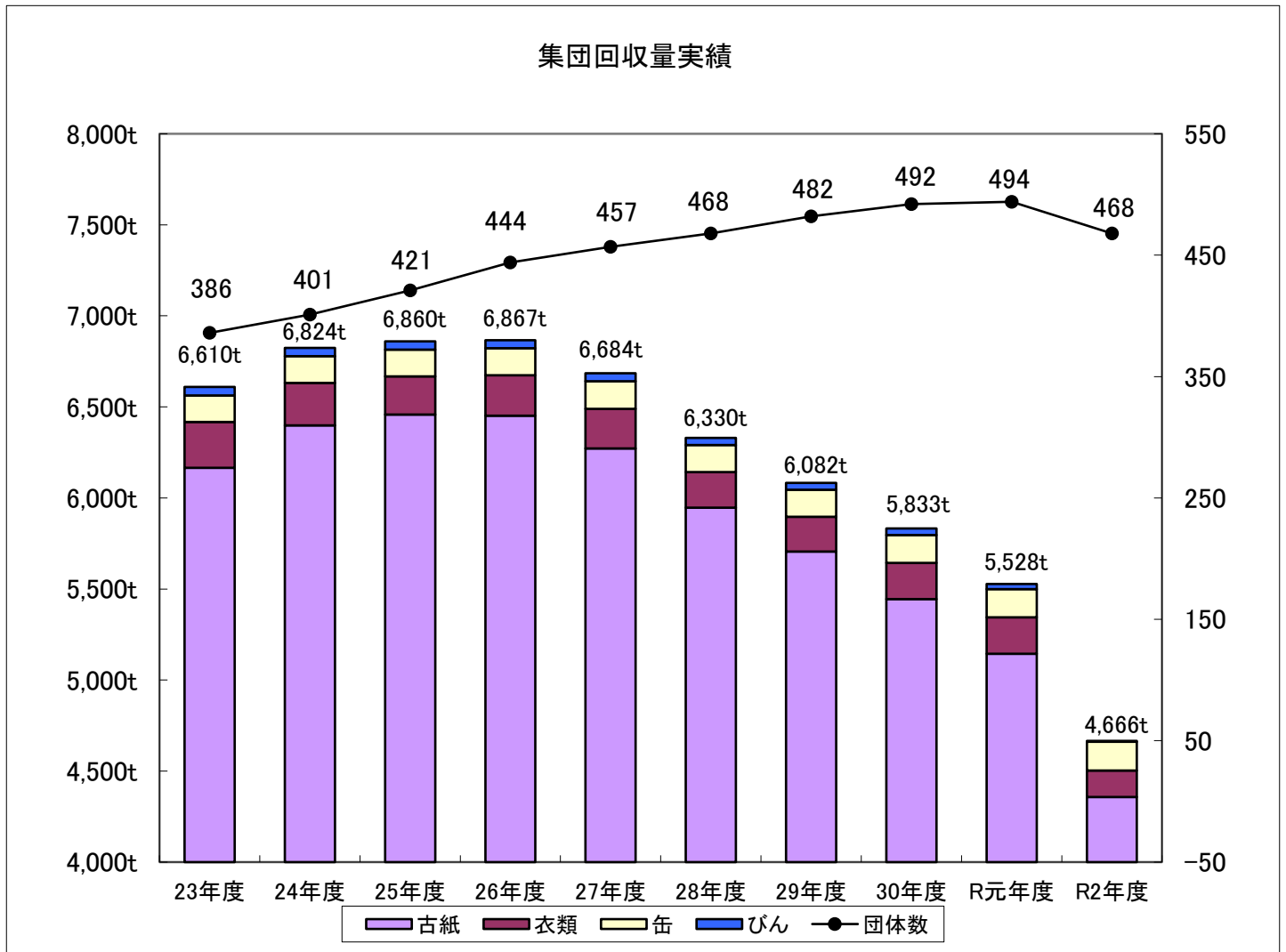
※ 端数処理のため合計があわない場合がある。

※参考: 売却額(円)

	粗大金属	使用済小型家電	不燃金属
25年度	21,553,322	49,105	-
26年度	19,747,462	348,488	7,908,510
27年度	6,602,041	447,723	5,250,809
28年度	6,978,259	340,034	3,127,619
29年度	12,437,650	554,297	8,090,094
30年度	5,972,747	639,738	5,540,726
R元年度	604,750	466,090	612,572
R2年度	0	119,510	0

※R2年度より粗大金属、不燃金属は歳出のため除外

5. 集団回収量実績<年間>



	古紙	衣類	缶	びん	合計	団体数
23年度	6,166t	251t	147t	46t	6,610t	386
24年度	6,398t	233t	147t	46t	6,824t	401
25年度	6,457t	210t	148t	44t	6,860t	421
26年度	6,451t	223t	149t	44t	6,867t	444
27年度	6,272t	217t	152t	43t	6,684t	457
28年度	5,946t	196t	149t	40t	6,330t	468
29年度	5,705t	191t	148t	37t	6,082t	482
30年度	5,444t	199t	153t	36t	5,833t	492
R元年度	5,144t	201t	155t	28t	5,528t	494
R2年度	4,357t	145t	158t	6t	4,666t	468

※ 団体数は、平成22年度以降は実施団体の数である。

※ 端数処理のため合計があわない場合がある。

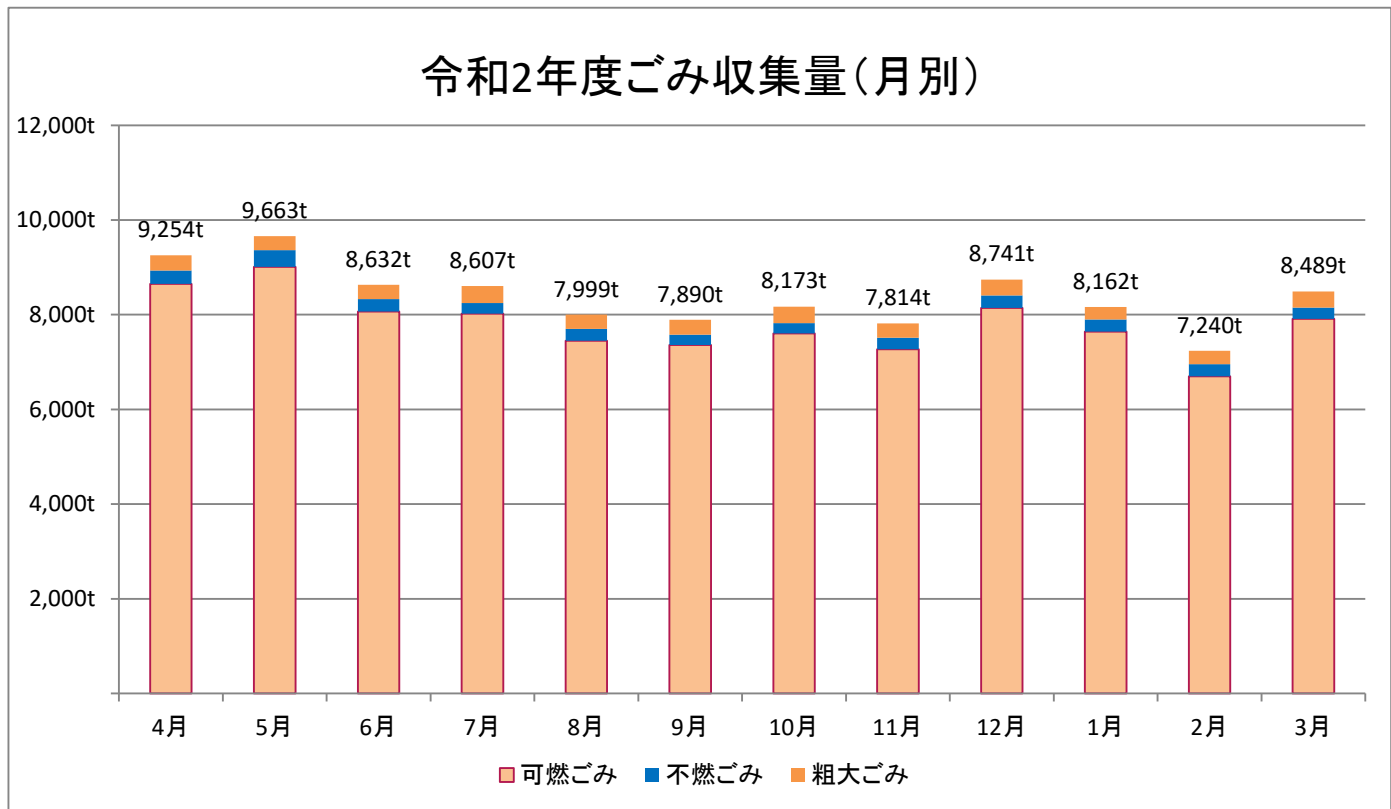
6. ごみ収集量・資源回収量実績<前年度比較>

区分	種別	令和2年度					
		合計		行政回収		集団回収	
			前年度比		前年度比		前年度比
ごみ	可燃	93,836t	102.8%	93,836t	102.8%	-	-
	不燃	3,055t	111.0%	3,055t	111.0%	-	-
	粗大	3,773t	100.9%	3,773t	100.9%	-	-
	計	100,664t	103.0%	100,664t	103.0%	-	-
資源	プラスチック製容器包装	4,734t	107.7%	4,734t	107.7%	-	-
	ペットボトル	2,388t	109.4%	2,388t	109.4%	-	-
	古紙	21,843t	103.8%	17,486t	110.0%	4,357t	84.7%
	びん	5,668t	112.5%	5,663t	113.0%	6t	20.0%
	缶	2,289t	113.0%	2,130t	114.0%	158t	101.9%
	古布	145t	72.3%	-	-	145t	72.3%
	粗大金属分等	871t	101.3%	871t	101.3%	-	-
	使用済小型家電	13t	91.4%	13t	91.4%	-	-
	不燃金属分	629t	94.4%	629t	94.4%	-	-
	計	38,581t	105.9%	33,914t	109.8%	4,666t	84.4%
合計		139,244t	103.8%	134,578t	104.6%	4,666t	84.4%

※ 端数処理のため合計があわない場合がある。

※ 小型家電の拠点回収は平成25年10月21日から開始。回収品目は、携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機、デジタルカメラ、電子辞書、ACアダプター等コード類、ポータブルビデオカメラ、ポータブルカーナビ、桌上計算機、電話機、ファクシミリ、ラジオ受信機、ヘッドライヤー、電気かみそり、炊飯器の15品目。ただし、最大辺が30センチメートルを超えるものは回収品目であっても回収しない。

7. 令和2年度 ごみ収集量実績<月別>

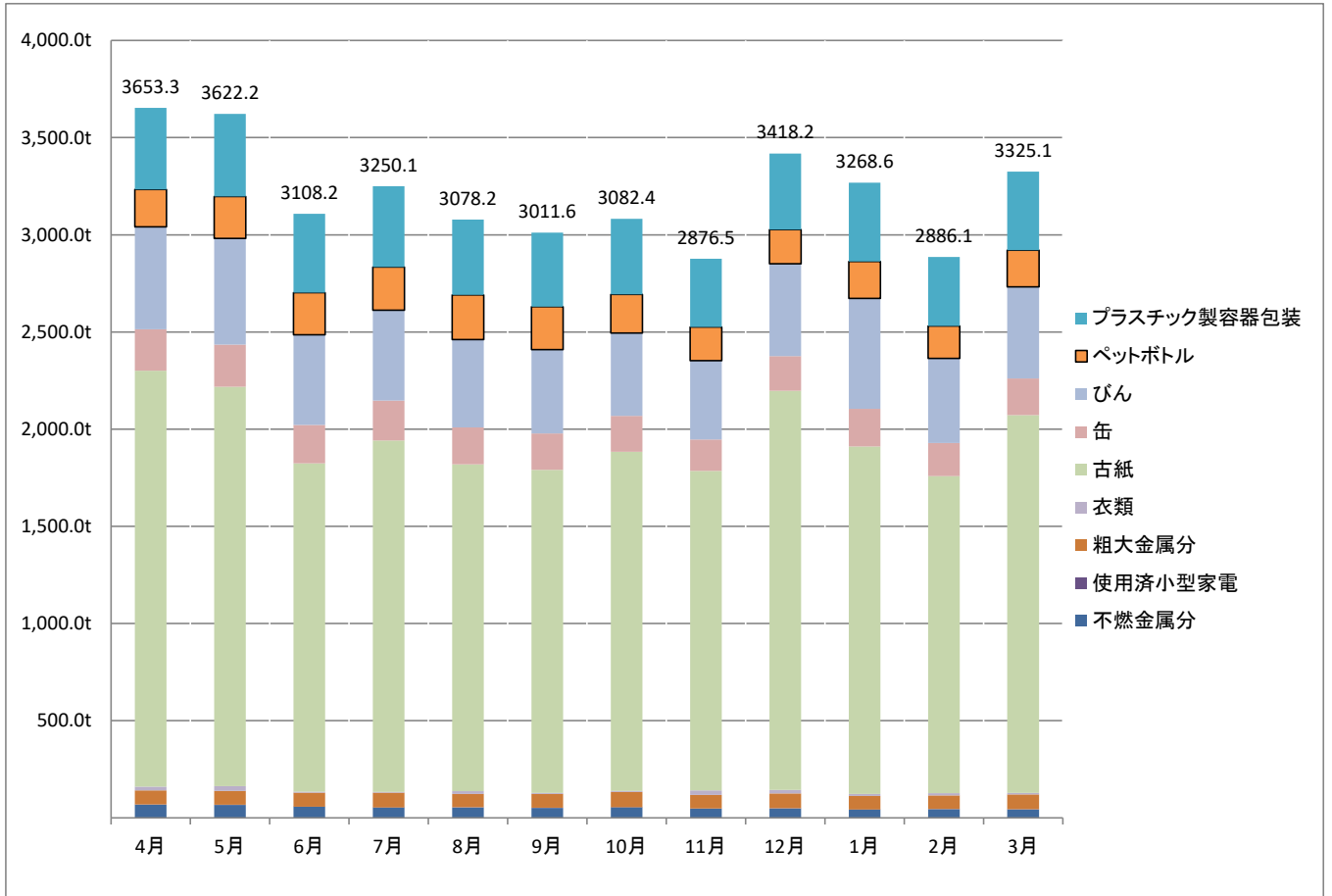


2年度	ごみ合計	ごみ		
		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ
4月	9,254t	8,650t	281t	323t
5月	9,663t	9,014t	349t	299t
6月	8,632t	8,065t	263t	304t
7月	8,607t	8,021t	227t	360t
8月	7,999t	7,452t	247t	301t
9月	7,890t	7,361t	215t	314t
10月	8,173t	7,602t	223t	348t
11月	7,814t	7,268t	246t	300t
12月	8,741t	8,147t	261t	333t
1月	8,162t	7,642t	255t	265t
2月	7,240t	6,700t	253t	287t
3月	8,489t	7,913t	236t	340t
年間計	100,664t	93,836t	3,055t	3,773t

※ 端数処理のため合計があわない場合がある。

8. 令和2年度 資源回収量実績<月別>

資源合計 回収量実績



R2年度	プラスチック製容器包装	ペットボトル	びん	缶	古紙	衣類	粗大金属分	使用済小型家電	不燃金属分	合計
4月	419.9t	192.7t	527.1t	212.9t	2,140.6t	18.4t	72.6t	1.1t	67.9t	3,653.3t
5月	425.3t	214.9t	546.5t	217.7t	2,055.0t	23.6t	71.5t	0.8t	66.8t	3,622.2t
6月	406.1t	217.3t	462.4t	198.5t	1,689.5t	5.2t	71.2t	1.1t	56.8t	3,108.2t
7月	415.9t	221.5t	465.8t	205.4t	1,807.8t	4.4t	75.3t	1.1t	52.9t	3,250.1t
8月	387.6t	229.5t	452.0t	189.6t	1,682.6t	13.8t	68.3t	1.5t	53.3t	3,078.2t
9月	381.2t	221.0t	431.6t	187.1t	1,662.3t	5.1t	71.3t	1.0t	51.0t	3,011.6t
10月	388.7t	199.5t	426.0t	183.9t	1,745.3t	5.1t	78.5t	1.2t	54.2t	3,082.4t
11月	351.2t	172.8t	405.0t	162.6t	1,643.0t	23.7t	70.1t	0.8t	47.2t	2,876.5t
12月	391.9t	174.9t	476.1t	177.4t	2,054.4t	17.5t	76.4t	1.4t	48.3t	3,418.2t
1月	406.6t	189.2t	568.3t	193.4t	1,788.5t	9.3t	69.7t	0.8t	42.9t	3,268.6t
2月	355.4t	166.5t	435.2t	171.2t	1,631.0t	10.7t	70.0t	1.5t	44.5t	2,886.1t
3月	404.3t	188.3t	472.2t	188.7t	1,943.5t	8.1t	75.8t	1.0t	43.3t	3,325.1t
年間合計	4,734.0t	2,388.2t	5,668.3t	2,288.6t	21,843.5t	145.0t	870.6t	13.3t	629.1t	38,580.6t
(集積所回収)	4,734.0t	2,388.2t	5,662.6t	2,130.2t	17,486.1t	—	—	—	—	32,401.1t
(その他)	—	—	—	—	—	—	870.6t	13.3t	629.1t	1,513.0t
(集団回収)	—	—	5.7t	158.3t	4,357.4t	145.0t	—	—	—	4,666.4t

- ※ 端数処理のため合計があわない場合がある。
- ※ 不燃金属分は平成29年10月より100%選別回収へ拡大。
- ※ 粗大金属・使用済小型家電・不燃金属分の回収量は売却量とする。

9. ごみの組成

令和元年度に実施した「家庭ごみ排出状況調査」の結果をお知らせします。

1 調査概要

期間は令和元年6月15日から6月28日までの2週間、調査対象地域は7地域、集積所数は80か所程度。調査地域は戸建住宅形態を2地域、住宅商業混在形態を3地域、単身者向け集合住宅形態を2地域とし、それぞれを1か所に集めて、中身を開けて調査をする「家庭ごみ排出状況調査」を行いました。（排出者個人の特定はされません。）

2 調査結果

● 区内全体の家庭ごみ組成

本来の分別区分	可燃ごみの組成	不燃ごみの組成
可燃ごみ	82.9%	12.0%
不燃ごみ	0.4%	44.6%
資源物	15.2%	42.6%
処理困難物	0.6%	0.0%
ごみ排出袋	1.0%	0.9%
合計	100%	100%
分別率	83.7%	80.1%

可燃ごみへ混入していた資源物15.2%のうち、紙類が10.9%、プラスチック類が4.3%でした。不燃ごみへ混入していた資源物42.6%のうち、小型家電が20.9%、びんが3.0%、缶が2.7%でした。紙類やプラスチック、有価金属複合物を正しく分別すると、ごみはもっと減らせることが分かりました。

3 未利用食品調査結果

ごみとして排出された食べ残しについて、食べ残された部分がおおむね10%以上残っているものを調査しました。生ごみ全量に占める未利用食品の割合は、全体では10.3%でした。

● 排出された未利用食品の種類別割合

食品種類	割合
野菜・果物類	26.5%
魚介・肉類	7.4%
菓子類	27.6%
調味料類	1.5%
飲料	2.2%
その他	34.8%

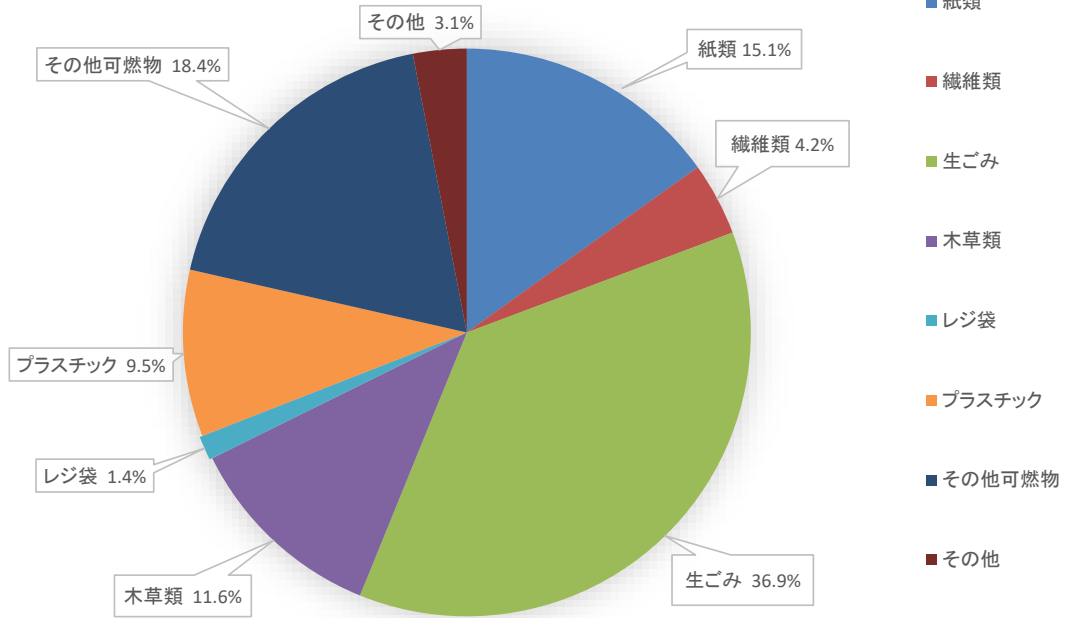
排出された未利用食品以外で最も多いのは菓子類、次いで野菜・果物類でした。

家庭ごみ組成調査報告書より抜粋

区分	大分類	中分類	小分類	No.	区内全体	
					可燃ごみ	不燃ごみ
可燃	紙類	新聞		1	0.16%	-
		折り込みチラシ		2	0.39%	-
		パンフレット		3	1.08%	-
		雑誌・書籍		4	0.30%	-
		段ボール		5	0.46%	0.56%
		紙バック(内側にアルミコーティングされてないもの)		6	0.45%	-
		容器包装紙類	リサイクル可	7	3.49%	0.81%
			リサイクル不可	8	2.33%	0.02%
		その他紙類	リサイクル可	9	4.60%	0.06%
			リサイクル不可	10	1.85%	-
	繊維類		11	4.16%	0.06%	
	生ごみ	生ごみ(可食部)	直接廃棄(100%残存)	12	1.53%	0.02%
			直接廃棄(50%以上残存)	13	0.69%	0.06%
			直接廃棄(10%以上残存)	14	0.50%	-
			食べ残し	15	1.43%	-
		生ごみ(不可食部)	16	32.71%	-	
	木・草類		17	11.55%	0.79%	
	ごみ袋		18	0.60%	0.13%	
	レジ袋	レジ袋(外袋)	19	0.39%	0.73%	
		レジ袋(内袋)	20	0.80%	0.23%	
		レジ袋(ごみ)	21	0.18%	0.02%	
	ペットボトル		22	0.35%	0.02%	
	プラスチック	プラスチック製容器包装	リサイクル可	23	2.62%	0.26%
			リサイクル不可	24	5.05%	0.69%
		プラスチック製品	25	1.82%	9.84%	
	ゴム・皮革	ゴム・皮革	26	0.85%	0.06%	
	その他可燃物	紙おむつ	27	4.76%	-	
		その他可燃物	28	13.62%	0.43%	
不燃	びん	びん	リサイクル可	29	0.05%	3.14%
		その他のびん	リサイクル不可	30	0.05%	1.45%
	缶	缶	リサイクル可	31	0.03%	2.74%
		その他の缶	リサイクル不可	32	0.01%	0.23%
	小型家電	小型家電(15品目)	携帯電話	33	0.00%	-
			携帯電話以外	34	0.01%	4.32%
		小型家電(15品目以外)	タブレット端末	35	0.00%	-
		15品目・タブレット端末以外	36	0.03%	16.56%	
	金属製品		37	0.15%	11.36%	
	電池	乾電池	38	0.00%	3.38%	
		ボタン型電池	39	0.00%	0.02%	
		充電式電池	40	0.00%	0.02%	
		その他電池	41	0.00%	-	
	陶磁器類		42	0.02%	11.34%	
	ガラス類		43	0.03%	6.95%	
	スプレー缶等		44	0.05%	4.22%	
	蛍光管・蛍光灯・電球		45	0.00%	2.61%	
	その他不燃物		46	0.21%	16.95%	
その他処理困難物		47	0.60%	0.04%		
合計				-	100.00%	100.00%

区分	区内全体	
	可燃ごみ	不燃ごみ
可燃ごみ	79.54%	7.94%
不燃ごみ	0.27%	55.87%
資源物	18.67%	35.47%
処理困難物	0.68%	0.00%
ごみ排出袋	0.84%	0.72%
合計	100.00%	100.00%
分別協力率【可(不)燃ごみ/(合計-ごみ排出袋)】	80.21%	87.48%

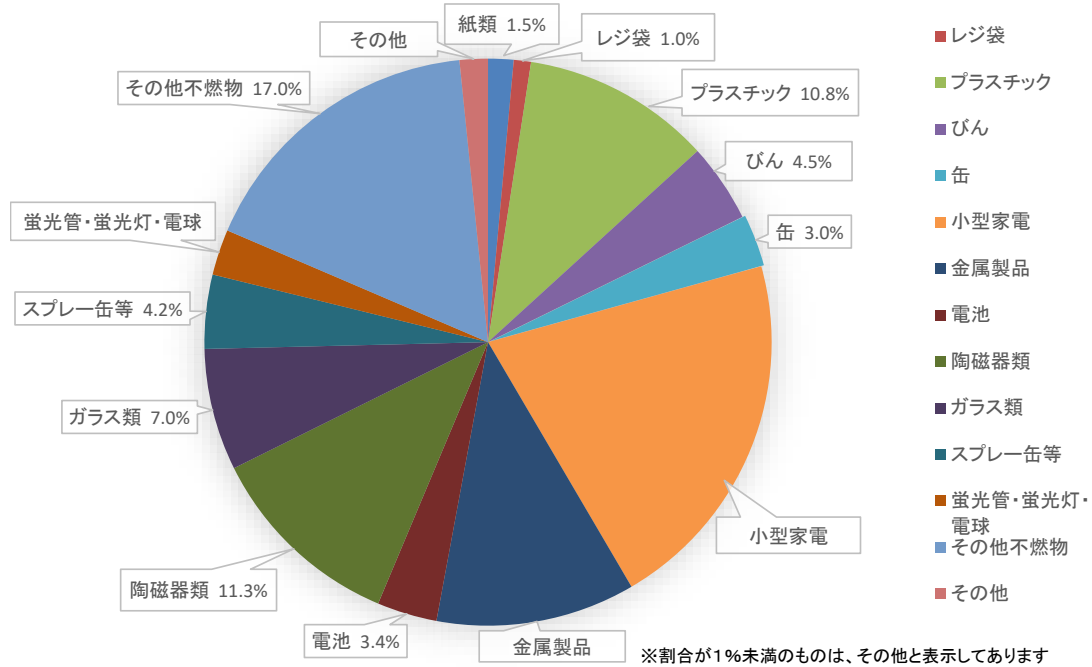
令和元年度 可燃ごみ組成調査結果



※割合が1%未満のものは、その他と表示してあります

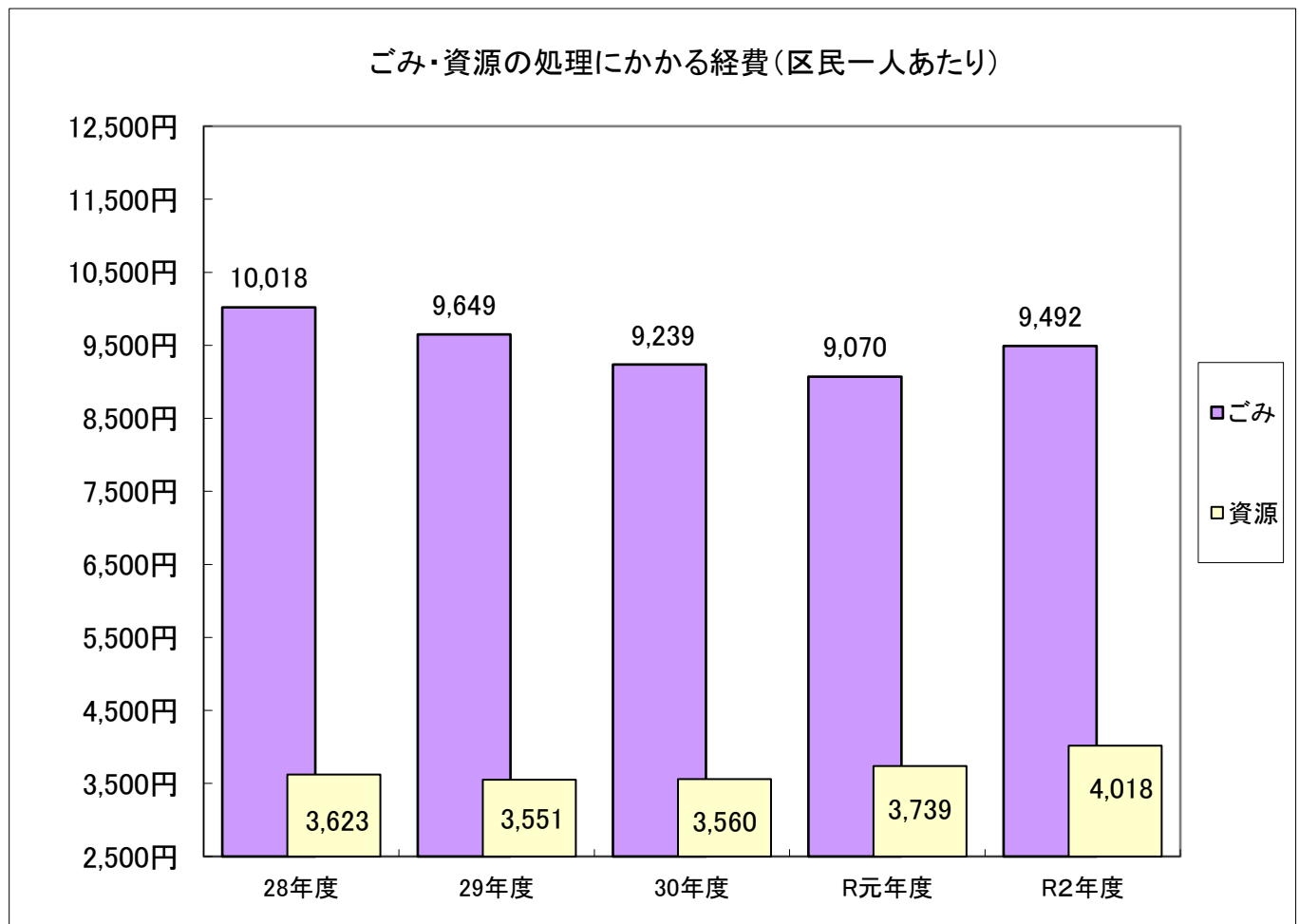
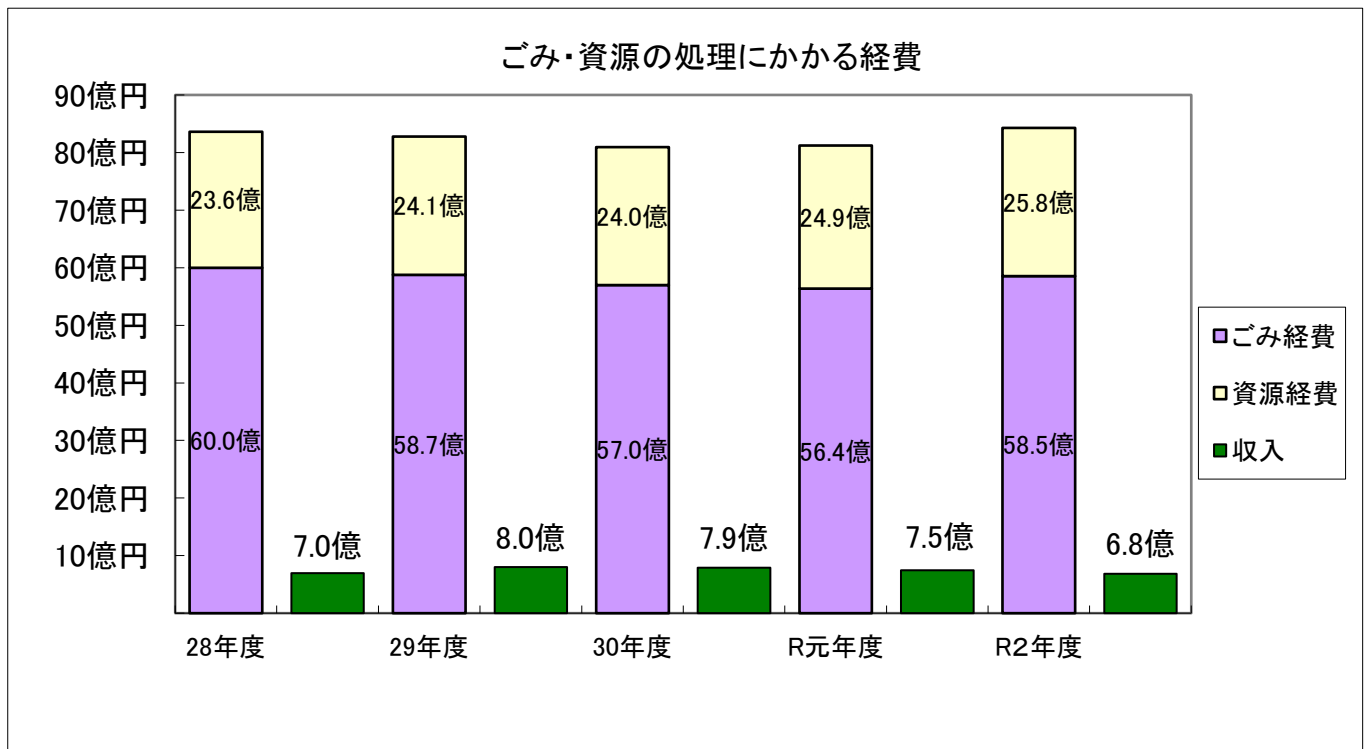
大分類	細分類	割合
紙類	新聞紙、チラシ、雑誌・雑がみ、その他	15.1%
繊維類	繊維類	4.2%
生ごみ	生ごみ	36.9%
木草類	せん定枝、草木類	11.6%
ごみ袋	ごみ袋	0.6%
レジ袋	レジ袋	1.4%
ペットボトル	ペットボトル	0.4%
プラスチック	容器包装プラ、プラスチック製品	9.5%
ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	0.9%
その他可燃物	紙おむつ、吸殻他	18.4%
びん	びん	0.1%
缶	缶	0.0%
小型家電	小型家電	0.0%
金属製品	金属製品	0.2%
電池	電池	0.0%
陶磁器類	陶磁器類	0.0%
ガラス類	ガラス類	0.0%
スプレー缶等	スプレー缶等	0.1%
蛍光管・蛍光灯・電球	蛍光管・蛍光灯・電球	0.0%
その他不燃物	その他不燃物	0.2%
その他処理困難物	その他処理困難物	0.6%
合計		100.0%

令和元年度 不燃ごみ組成調査結果



大分類	細分類	割合
紙類	新聞紙、チラシ、雑誌・雑がみ、その他	1.5%
繊維類	繊維類	0.1%
生ごみ	生ごみ	0.1%
木草類	せん定枝、草木類	0.8%
ごみ袋	ごみ袋	0.1%
レジ袋	レジ袋	1.0%
ペットボトル	ペットボトル	0.0%
プラスチック	容器包装プラ、プラスチック製品	10.8%
ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	0.1%
その他可燃物	紙おむつ、吸殻他	0.4%
びん	びん	4.5%
缶	缶	3.0%
小型家電	小型家電	20.9%
金属製品	金属製品	11.4%
電池	電池	3.4%
陶磁器類	陶磁器類	11.3%
ガラス類	ガラス類	7.0%
スプレー缶等	スプレー缶等	4.2%
蛍光管・蛍光灯・電球	蛍光管・蛍光灯・電球	2.6%
その他不燃物	その他不燃物	17.0%
その他処理困難物	その他処理困難物	0.0%
	合計	100.0%

10. ごみ・資源の処理にかかる経費



11. 杉並区の清掃事業の歴史

年	月	杉並区の動き	月	国・東京都・東京二十三区 清掃一部事務組合の動き
2004年 (平成16年)	3	・プラスチック製容器包装分別収集モデル事業の実施	4	・「家電リサイクル法」改正(冷蔵庫を対象品目に追加)
	7	・新潟県三条市災害派遣		
	11	・新潟県小千谷市災害派遣 ・ペットボトル集積所回収モデル事業開始		
2005年 (平成17年)	9	・カラス対策「黄色いごみ袋」を杉並区推奨可燃ごみ収集袋第1号として認定	1	・「自動車リサイクル法」本格施行
2006年 (平成18年)	2	・粗大ごみ日曜収集・区民持込制度開始	4	・清掃事業が区へ完全に移管される
	10	・雑がみの分別回収を区内全域で実施		
2007年 (平成19年)	9	・新潟県柏崎市清掃災害派遣		
2008年 (平成20年)	3	・「杉並区一般廃棄物処理基本計画」改定	3	・「第二次循環型社会形成推進基本計画」策定
	4	・廃プラスチックのサーマルリサイクルを区内全域で実施 ・プラスチック製容器包装・ペットボトルの集積所回収を区内全域で実施 ・不燃ごみを毎週から隔週収集に変更		
2009年 (平成21年)	1	・不燃ごみを隔週から月2回収集に変更	4	・「家電リサイクル法」改正(対象品目に液晶式・プラズマ式テレビ、衣類乾燥機を追加)
	3	・杉並中継所操業終了		
	4	・不燃ごみのうち、スプレー缶・カセットボンベ・ライターの分別収集開始		
2010年 (平成22年)			2	・東京二十三区清掃一部事務組合「一般廃棄物処理基本計画」策定
2011年 (平成23年)	1	・化粧品びんを資源の「びん」として回収開始	6	・「東京都廃棄物処理計画」策定
	5	・仙台市清掃災害派遣(東日本大震災)		
2012年 (平成24年)	1	・杉並清掃工場建替え工事の開始につき搬入停止(~平成29年)		
	4	・水銀体温計・血圧計の拠点回収開始 ・インクカートリッジの拠点回収開始		
2013年 (平成25年)	4	・粗大ごみから金属分等有価物回収及び資源化	4	・「小型家電リサイクル法」施行
	7	・「杉並区一般廃棄物処理基本計画」改定		
	10	・小型家電15品目の拠点回収開始		
2014年 (平成26年)	2	・環境基本計画の改定		
	4	・不燃ごみの選別、金属分の回収及び資源化を一部地域で開始 ・蛍光管の適正処理及び資源化		
2015年 (平成27年)			3	・ペットボトルの店頭回収を廃止し、集積所での回収に移行
2016年 (平成28年)			3	・「東京都資源循環・廃棄物処理計画」策定
2017年 (平成29年)	3	・フードドライブ取り組みの開始	10	・杉並清掃工場稼働 ・事業系有料ごみ処理券の料金の改定
	4	・「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」東京2020組織委員会主催に参加		
	10	・杉並清掃工場への搬入開始 ・粗大ごみの処理手数料改定 ・臨時ごみ、動物死体の処理手数料の改定 ・不燃ごみの選別、金属分の回収及び資源化を区内全域に拡大		
2018年 (平成30年)	4	・フードドライブの常設窓口の設置(4施設)	12	
	7	・「杉並区一般廃棄物処理基本計画」改定		
	12	・食べのこしO(ゼロ)応援店事業開始		
2019年 (令和元年)	4	・家庭から出る食用油の拠点回収を開始(5施設)	10	・食品ロスの削減に関する法律施行
	6	・フードドライブの常設窓口の拡充(累計10施設)		
2020年 (令和2年)	1	・「小型家電リサイクル法」の認定事業者とパソコンの宅配便による無料回収の定を締結		
	2	・小型充電式電池リサイクルボックスの設置(5施設)	7	・容器包装リサイクル法関係省令改正(プラスチック製買い物袋[レジ袋]の有料化)
	4	・フードシェアリング事業者と食品ロス削減協定を締結		
2021年 (令和3年)	4	・フードドライブの常設窓口の拡充(累計12施設)	2	・東京二十三区清掃一部事務組合「基本計画・実行計画」策定、「一般廃棄物処理基本計画」改定
	5	・第一生命保険株式会社と食品ロス削減定を締結		
			6	・「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」成立(施行時期未定)